

オアシス新聞

第十六号
木の実コロコロ 収穫の秋

秋が深まるにつれ、野山には様々な木の実が目につくようになります。赤や紫に色づき、目で見て美しいもの。形がかわいらしく、飾ったりクラフトに利用できるもの。なんといっても食べておいしいもの。

色合いが美しいものには紫色のムラサキシキブ、赤い実のガマズミやウメドキ、オレンジ色のカラスウリ。生け花のアレンジに一本実ものを添えるだけで、ぐっと趣がでてきます。

遊びや工作に利用できるものには松ぼっくりやドングリがあります。何に使うというわけではなくても、道に転がっていると思わず拾ってしまいませんか？工夫次第でアクセサリーやマスコット、コマややじろべえといった遊び道具もつくれます。どんぐりの頭を削って中身を出し、笛なんかもよく作ったものです。木の实と一緒にツルなども手に入ったら、リースを作って飾ってみてもおしゃれですね。

そしてやっぱり一番気になるのは食べられる実。クリやクルミはすっかり買って食べるものという意識が強くなってしまいました。山栗や鬼グルミなんかは、意外と山に分け入ってみると見つかったりもします。アケビも最近では紫色の美しいものが店頭で大事そうに紙に包まれて売られていたりもしますが、茶色くいびつなものでも、野山で見つけたときは目を輝かせて大騒ぎになります。山芋なんかも掘るのは大変ですが、ツルに指の先位の大きさのむかごが付いていれば、気軽につまんで収穫し、むかごご飯なんていうのもおつまみものです。

見てよし、遊んでよし、食べてよし。秋の野山は楽しみがいっぱいです。ただし乱暴に採取しすぎて、山の神様に怒られないように気を付けてください。

どんぐりコロコロ。かたちはイロイロ。どんぐりとは主にブナ科の木の実の総称です。また、たもの、次のようなものがあります。

公園や街路で一番見つけやすいどんぐり。うさこ状の模様がついた、ベレー帽のようなホウシ(殻)と言います(特徴的)。



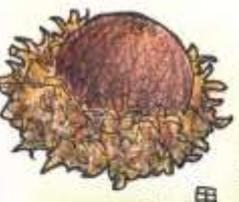
マテパシイ

シラカシは庭木としてもよく植えられる。横シマのホウシを深めにかぶっています。



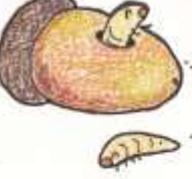
シラカシ

見つけるとちょっとうれしい丸いどんぐり。ホウシもちょっとオシャレ。クヌギの木は薪として利用されていたため、里山ではもっともポピュラーなどんぐりのひとつ。



クヌギ

中には虫が出る「アタリ」もあります...



なかには虫が出る「アタリ」もあります...



殻斗がホウシ状ではなく、どんぐりをスッポリ包んでいるタイプのもの。炒って食べるとおいしいです。



スダシイ